

KS KS

かがやき

ひかり福祉会広報 vol. 99

睦月号
2018

特集

相談支援事業所の実践② ～相談支援センターあおい～



ひので作業所【お餅つき】

CONTENTS

理事長新年のご挨拶 ······ P 2	第6次将来計画骨子提案 ······ P 3、P 6
相談支援事業所の実践② ······ P 4、5	寄付・物品／助成金報告 ······ P 7
職員募集／編集後記 ······ P 8	後援会活動 ······ 付録

■連絡先：〒526-0822 滋賀県長浜市鳥羽上町 68-1 ひかり福祉会 法人事務センター (TEL:0749-63-5711)

URL <http://www.hikari-fukushi.net/>

■編集人：社会福祉法人 ひかり福祉会 後援会

2000年12月12日 第三種類郵便承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

理事長新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。旧年中は関係各位より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、社会福祉法の改正に伴い理事長をはじめとする評議員・理事構成の変更等もあり、ひかり福祉会がこれまで培つてきました歴史を引き継ぐには、あまりにも未熟なところで、皆さまには多大な御迷惑をお掛けしましたこと改めてお詫び申し上げます。

さて障害者福祉を取り巻く情勢をはじめ、私たちの暮らしに関わる事柄がこれまでにない速度で変わろうとしています。その変化の要因は、世界情勢の大きな変化と人口の減少、それに伴う経済の縮小を見据えたものであることがうかがえます。年を追うごとに人口が増え、経済は右肩上がりで成長するという時代を生きていた者からすると経験したことのない時代に入りました。状況が目の前に来て

いると言えます。人手不足による事業の廃止や倒産が巷間の話題になり今後もその傾向は進んでいくと思われます。また私たちの生活に関わるところで一つの例を挙げると、当たり前だと思つていた行政による家庭ゴミの回収等住民サービスも人手不足から実施できない状況も出てくるのではないか。

一方で、人口知能(AI)の進歩はめざましく、今後数年の間に人に取つて代わつてロボットが担う職業が増えてくるでしょう。そういう意味では、人工知能の進化によつてこれから更に起こり得る世の中の変化に適応させていけるか?自分を見失うことなく生きていけるか?が問われています。

大きな柱は、「事業所の機能分化と再編」・「組織強化」・「人材育成」・「財政再建」の4つです。そのためには、地域の福祉関係者をはじめ行政や関係機関との連携を強化し、法人として具体的な期待に応えられるよう時代の流れに見合つた事業をすすめていくことが必要だと考えま

く増やしてきました。それは眼前の期待に直面した結果であると言えます。しかし事業規模の拡大と経営の安定は必ずしも符号はしていないのが実情です。ひかり福祉会が長浜でスタートし、湖北・湖東に事業を展開し始めた頃と現在では状況は大きく変わってきました。また障害児者福祉を運営する事業所も増えるとともに、福祉事業に対する期待も障害という切り口から社会的に不利な人たちにまで拡大しています。

このような状況の中であるからこそ、今後の法人の指針を様々な角度から検証し明文化していくことが求められています。まさに今法人が打ち立てようとしている「第6次将来計画」がそれです。

本年も職員一同、皆さまにご満足いただける支援を心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

私は、今年も職員一同、皆さまにご満足いただける支援を心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

理事長 高橋信一



新年明けまして
おめでとうございます



第6次将来計画骨子提案

生活

ひかり福祉会は現在、湖北と湖東圏域に8カ所のホームがあり、39名の入居者が暮らしております。福祉会が40年の歴史を刻んだように、入居者も日々の暮らしを重ねつつ、高齢の方は介護施設へ移られるケースもあります。その人にとって、最良の暮らしの場への円滑な移行を促すことも役割の一つであるとともに、働く力を再生産する居場所として、働く障害者を応援する暮らしを居宅事業と連携しつつ進めていきます。またホームを支える担い手を育てるため、職員のホーム体験の実習を行っていきます。

相談・居宅

「相談部門」・「居宅部門」とともに、「人材確保」、「人材育成」、「資質向上」を重点に置き、広域事業として地域での役割（地域生活に関わる様々な相談を受け、そのニーズに対応できるようきめ細やかなより良いサービスの提供）が果たせるよう事業運営・実践をしていきます。

すべての方々の「しあわせ」・「ゆたかさ」・「安心」をめざします。

環境

環境改善部は経営理念のひとつである「職員の笑顔をはぐくむ」目標に、全職員が心身ともに健康に長く働けるような職場環境にすべく取り組んでいきます。今年度、職場環境の実態を把握するためにアンケートを行いました。法人組織・財政問題・人材育成・環境整備等さまざまな意見がありました。まずは改善すべき点を洗い出し、良いところは一層推進し、改善すべき点はできるところから改善策を検討し職場環境の整備を進めて行きたいと思っております。

これからのひかり福祉会

次年度から推進していくことになります第6次将来計画の骨子づくりの機会として設定し、職員や事業所としての意見を聞いてまとめてきました。その中で、大きく4つのカテゴリに分けています。1つめは「機能分化（事業の統廃合含む）」、2つめは「人財育成」、3つめは「組織強化」、最後に「財政再建」の4つです。この4つを各専門部（労働支援部、生活支援部、相談・居宅支援部・環境改善部）の方針と混ぜ合わせることができました。今後は、上述しております第6次将来計画の骨格となって生かされていきます。


特集

相談支援センターの実践② 「相談支援センターあおい」



◆「相談支援センターあおい」 つて知つてある?

南彦根駅前から街路樹の道を徒歩8分、通りに面したアパートの2階に「相談支援センターあおい」はあります。ドアを開けると、「こんにちは」と明るいあいさつ、室内には整然とパンフレットやファイルが並んでいます。相談支援センターあおいでは、障害のある方に対するサービス等利用計画の作成と一般相談という二つの事業を行っています。

◆あおいの事業 —計画相談と一般相談—

一般相談では、障害のあるご本人やご家族から、さまざまなお問い合わせがあります。障害者手帳の有無や福祉サービスの利用有無を問わず、広く障害者福祉に関する相談を受け付けており、仕事や家庭でのトラブル、心身の不調といった相談が寄せられています。相談支援専門員が困りごとや心配事を丁寧に聞き取り、必要な時は専門機関や関係機関への紹介などを行っています。

◆障害をもつた方々の 地域生活をサポートする

では、実際にあおいの仕事をのぞいてみましょう。あおいの相談支援専門員の方に印象深かったエピソードをお聞かせいただきました。（詳細は変更しています）

●ねばり強いサポートによ り地域生活をサポートする たAさん

サービス等利用計画の作成では、障害のある方が地域で安心して暮らせるよう、サービス利用を含んだプランづくりを行います。「どのような生活がしたいか」、「どのようなサービスを使いたいか」といったご本人の思いや願いを相談支援専門員がじっくり聞き取りながら、一緒にプランをつくっていきます。また行政やサービス提供事業所との連絡調整やサービスを使ってみてどうかという確認を定期的に行っています。

若くてエネルギーのないAさん。しかし仕事が長続きしません。生活面などの支援も必要な環境になりました。そこで、あおいの相談支援専門員は、就労支援機関と連携



しながら、Aさんの興味や得意分野をふまえた事業所紹介や実習のサポートを行いました。2年にわたるねばり強いサポートを経て、現在Aさんは県外での就職が決まっています。

●サポートによりグループホームへの入居、地域での暮らしが継続できたBさん

長年、ご高齢の母親と支えあいながら自宅で暮らしてきたBさん。日中は福祉製造作業に誇りを持つ取り組んでいます。ところが、突然の母親の入院により、この生活の継続がゆるがされました。一人暮らしは難しい、しかし、住み慣れた地域や事業所での生活を続けたい・・・。すぐにおいのよびかけで行政、後見人、事業所職員など関係機関が集まり、Bさんの希望を中心において、今後の相談がなされました。おいの担当者は、母の不安や心配にも寄り添いながら、Bさんのグループホーム入居をサポートしました。今、Bさんはグループホームで暮らしながら、日中は通いなれた事業所での仕事を続けています。グループホームでは仲の良い利用者

と楽しく暮らしながら、定期的な母との面会を心待ちにされています。

●住み慣れた地域で安心して暮らせるように

「Bさんがグループホームに入れた時は、本当に『ほつ』としました!」相談支援専門の方のやわらかな笑顔。この仕事の難しさはどう質問をすると、福祉や医療、労働など、多岐にわたる分野の制度や社会資源についての知識が必要なこと、また、たくさんの関係機関と連携しながらサポートを行うチーム力が必要なこと、と教えてくださいました。たくさんの知識やチーム力を秘めた、あたかいハート。これが、相談支援センターあおいのパワーの源です。



第6次骨子提案 労働支援部

移転を通して、ひかり福祉会が「障害があつても住み慣れた地域で働き・暮らす」の実現に向け前進する契機とします。

結の機能を明らかにする中で、湖東圏域内の法人事業所の役割も連動して考えていきます。

相談、生活、居宅、作業所が合築することで多様なニーズに応える場を目指します。



労働支援部会では、今年度3つの柱で議論をしてきました。

● 結の移転（2020年3月）

● 食事提供加算に伴つての友愛ハウス配食事業の方向性

● 食品表示に関して（2020年3月31日食品表示基準移行）

食品表示



食事提供 に関する



法改正により、2020年4月にはこれまで任意であつた栄養成分表示が義務化されることになります。

このため、法人で販売している食に関わる販売物は対象となるため、どのような表示が必要となるのか、また具体的に進めていくためにはどうすればよいのかを、専門家に来ていただき学習会を重ねています。

そして、法人としてより良い表示を検討していきます。



国のかたとして、2018年に食事提供加算廃止が検討されていましたが、12月18日に食事提供体制加算が継続されることとなりました。しかし、報酬に組み込まれたわけなく、あくまで加算としての位置付けであることから、次期の報酬改定でどのようにことになるかはわかりません。

今後も国の消費税率の引き上げや食事提供体制加算の経過措置のあり方を見極めつつ

今年度は移転事業を推進するにあたり、「働くこと」と「一般就労」に視点を当てています。

企業に於いて、障害者雇用率がアップしている事や当事者皆さんの働きたい願いに応えるために、現在の社会情勢や支援のあり方を学んできました。その学びを生かし移転事業計画を作成しています。

今後は補助金申請や土地の取得、建物のレイアウト等より具体的な動きとなります。情報は随時共有しながら進めていきます。

食品表示については、義務化に向け法人として統一した対応が出来るよう、準備を進めています。

つ、法人として、給食提供を行なう事業所として検討を続けていきたいと思います。



ひかり福祉会及び事業所へのご寄付ありがとうございました【寄付金・物品等】

(平成29年8月1日～29年11月30日 敬称略 順不同)

寄付物品

石崎 廣美	井関麻理子	伊藤 彰宏	上野 亜弥	海藤 恵子	川村 孝子
北村 千恵	北村 智之	上坂 千鶴	後藤 健二	小林 伸也	酒井美樹子
澤 和彦	志萱 奈月	重吉 佳奈	柴田 欣則	清水ツネ子	清水みのり
清水よし江	下野 修二	上口 勉	角野 光弘	瀧川三千治	田中さざ美
田中智比呂	丹部 正道	力石 行	辻 俊彦	津田 宏美	手原 早苗
飛田ゆかり	長澤 政弘	中島とも子	中村 治恵	中村 安夫	西川 直治
西田 信子	畠中 正	馬場ひろ子	樋口 高年	樋水みち子	疋田 綾子
疋田 憲治	藤田 悠乃	堀田 博行	松居 治男	三輪 昌宏	森岡 保
山田千枝子	山本 潤	山本まどか	吉川 尚輝	匿 名	

寄付金

株式会社TKX	関西ハム	北郷里地区民生委員児童委員協議会	くよもん農園
小林医院	新海クローバーの会	田口診療所	トップワン豊郷店
長浜市老人クラブ連合会高月支部		長浜養護学校保護者会	びわこ成蹊スポーツ大学
マルハン彦根店	れんげはうす		



助成金報告

ひので



この度、ダイトロン福祉財団様の助成金により、スヌーズレン設備の設置を行うことができました。この設備は使用する中で、心身のリラックスや個々の感覚を伸ばすことができ、療育的活動の幅を広げることができます。ダイトロン福祉財団様はじめ、関係機関の方々に深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

総額	1,006,360円
助成金	754,000円
自己資金	252,360円

職業指導員・生活支援員募集

2000年12月12日

第三種類郵便承認

毎月(1・2・3)

4・5・6・7・8の日)発行

- ①職業指導員・・・障害ある人の労働を支援
- ②生活支援員・・・障害ある人の介護を支援

給与) 高卒 156,000~ 短大卒 173,000~ 大卒 189,000~
 時間帯) 8:30~17:00
 勤務日数) 21日/月平均
 歓迎資格) 介護初任者または社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士
 待遇) 交通費規定支給
 休日休暇) 土(第3除く)、日、祝祭日、夏季(8/13~15)、冬季(12/30~1/5)
 その他) 長く働く人! 要普通免許(A T可)
 連絡先) 0749-63-5711 (8:30~17:00)
 採用担当) 川崎

社会福祉法人 ひかり福祉会

編集後記

平成30年がやってまいりました。新たな年となり今年の目標を掲げた方も多いと思います。目標というものは、人が成長していく中でとても大事なものだと思います。自分自身はもちろん、関わっている利用者の方にも目標を持ってもらい、共に人として成長していくことに福祉という仕事のやりがいを感じております。人との関わりは、複雑で脆弱なものですぐゆっくりと固めていけば強く、硬い支えになるはずです。

わたくしごとですが今年の目標は「人を思う」にしようと思っております。どうか皆さんも「重い槍」のような言葉よりも「思いやり」を持ちましょう。

◆就労移行支援・就労継続支援B型・生活介護◆

ひかり園 輝湖里 ひので作業所

友愛ハウス ワークセンター絆

たんぽぽ作業所 セルフひこね

HEART WORK 結 工房ふれっしゅ

彦華堂

◆グループホーム◆

長浜かざぐるまホーム 長浜里の家

米原蛍の家 ひこねたんぽぽホーム

ひこね芹川ホーム ひこねひまわりホーム

ひこね七里ホーム ひこねわたばうしホーム

◆日中一時支援・短期入所◆

ひかり園 ひので作業所

ショートスティホタル

◆相談支援・計画相談・就労支援・居宅支援◆

障害者支援センターそら

働き・暮らしコト一支援センター

相談支援センターあおい ヘルプもあ

■発行人：関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

■編集人：社会福祉法人 ひかり福祉会 長浜市鳥羽上町68-1

■定価：30円